

第49号議案

令和8年度

愛南町下水道事業会計補正予算（第1号）

令和8年度愛南町下水道事業会計補正予算(第1号)

(総 則)

第1条 令和8年度愛南町下水道事業会計の補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 令和8年度愛南町下水道事業会計予算(以下「予算」という。)第2条に定めた業務の予定量を次のように改める。

	(既決予定量)	(補正予定量)	(変更予定量)
(1) 主要な建設改良事業			
町営浄化槽整備推進事業外	76,166千円	10,310千円	86,476千円

(資本的収入及び支出)

第3条 予算第4条本文括弧書中「不足する額53,691千円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,200千円及び過年度分損益勘定留保資金52,491千円」を「不足する額53,801千円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,137千円及び過年度分損益勘定留保資金51,664千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	収 入		
第1款 資本的収入	125,625 千円	10,200 千円	135,825 千円
第1項 企 業 債	17,000 千円	10,200 千円	27,200 千円
	支 出		
第1款 資本的支出	179,316 千円	10,310 千円	189,626 千円
第1項 建 設 改 良 費	76,166 千円	10,310 千円	86,476 千円

(企業債)

第4条 予算第6条に定めた起債の限度額及び利率は、次のとおり補正する。

起債の目的	補正前				補正後			
	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
第二期 町営浄化槽整備 推進事業	千円 17,000	1 借入先 財務省、 その他 2 借入方法 普通貸借 3 借入年度	年5.0%以内 ただし、利 率見直し方式 で借り入れる 資金につい て、利率の見 直しを行った 後において は、当該見直 し後の利率で 借入すること ができる。	財務省、その他から 借入れる場合において は、措置期間、償還期 限、償還の方法は、借 入先の融資条件による ことができる。 ただし、必要に応 じ、繰上償還、償還期 限の短縮、または、低 利債に借換することが できる。	千円 補正前に同じ			
漁業集落排水施 設漁村整備事業	—	令和8年度 ただし、 工事または 財政上の都 合により起 債額の全額 若しくは一 部を翌年度 に繰越して 借入するこ とができ る。			10,200	補正前に 同じ	補正前に 同じ	補正前に 同じ

令和8年6月3日提出

愛南町長 中 村 維 伯

予算に関する説明書

令和8年度愛南町下水道事業会計補正予算実施計画書

資本の収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1	資本の収入		125,625	10,200	135,825	
	1	企業債	17,000	10,200	27,200	
		1 建設改良債	17,000	10,200	27,200	

支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1	資本の支出		179,316	10,310	189,626	
	1	建設改良費	76,166	10,310	86,476	
		1 建設改良費	76,166	10,310	86,476	

令和8年度愛南町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位：円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益(△は純損失)	1,710,000
	減価償却費	123,214,000
	固定資産除却費	22,694,000
	賞与引当金等の増減額(△は減少)	△ 11,000
	長期前受金戻入額	△ 86,690,000
	受取利息及び受取配当金	△ 146,000
	支払利息	8,257,000
	未収金の増減額(△は増加)	1,028,000
	未払金の増減額(△は減少)	626,000
	小計	70,682,000
	利息及び配当金の受取額	146,000
	利息の支払額	△ 8,257,000
	業務活動によるキャッシュ・フロー	62,571,000
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 238,265,000
	国庫補助金等による収入	132,795,000
	負担金等による収入	4,684,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 100,786,000
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	96,800,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 103,150,000
	他会計からの出資による収入	61,800,000
	財務活動によるキャッシュ・フロー	55,450,000
	資金増加(減少)額	17,235,000
	資金期首残高	96,787,816
	資金期末残高	114,022,816

令和8年度愛南町下水道事業予定貸借対照表

(令和9年3月31日)

資 産 の 部

(単位：円)

1	固 定 資 産			
	(1) 有 形 固 定 資 産			
	ア 土 地	35,942,064		
	イ 建 物	139,720,712		
	減価償却累計額	<u>△ 70,122,241</u>	69,598,471	
	ウ 構 築 物	2,815,187,817		
	減価償却累計額	<u>△ 1,457,128,910</u>	1,358,058,907	
	エ 機 械 及 び 装 置	3,033,221,392		
	減価償却累計額	<u>△ 1,531,256,044</u>	1,501,965,348	
	オ 建 設 仮 勘 定		<u>0</u>	
	有形固定資産合計		<u>2,965,564,790</u>	
	固定資産合計			2,965,564,790
2	流 動 資 産			
	(1) 現 金 預 金		114,022,816	
	(2) 未 収 金	15,247,000		
	貸 倒 引 当 金	<u>△ 9,010</u>	<u>15,237,990</u>	
	流動資産合計			<u>129,260,806</u>
	資 産 合 計			<u><u>3,094,825,596</u></u>

負債の部

3	固定負債		
(1)	企業債 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		498,026,118
	固定負債合計		498,026,118
4	流動負債		
(1)	企業債 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		99,302,985
(2)	未払金		11,220,000
(3)	引当金		
	ア 賞与引当金	1,350,000	
	イ 法定福利費引当金	275,000	1,625,000
	流動負債合計		112,147,985
5	繰延収益		
	長期前受金		3,385,971,521
	収益化累計額		△ 1,800,181,311
	繰延収益合計		1,585,790,210
	負債合計		2,195,964,313

資本の部

6	資本金		858,736,255
7	剰余金		
(1)	資本剰余金		
	ア 県補助金	3,726,900	
	イ 他会計補助金	30,448,800	
	資本剰余金合計		34,175,700
(2)	利益剰余金		
	ア 減債積立金	240,000	
	イ 当年度未処分利益剰余金	5,709,328	
	利益剰余金合計		5,949,328
	剰余金合計		40,125,028
	資本合計		898,861,283
	負債資本合計		3,094,825,596

愛南町下水道事業会計予算に係る注記事項

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建物	15～50年
構築物	10～50年
機械及び装置	7～35年

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

職員の退職手当は、「職員の退職手当に係る取扱いに関する覚書」に基づき、通常の負担金を除き、一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

イ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、翌年度の支給見込額のうち当事業年度の負担に属する額を計上している。

ウ 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に伴い発生する法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、翌年度の支給見込額のうち当事業年度の負担に属する額を計上している。

エ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、個別に回収見込額を勘案し、回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

- ・消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定貸借対照表等に関する注記

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(1年内に償還予定のものも含む。)のうち、他会計が負担すると見込まれる額。

令和8年度予定 (令和9年3月31日)
298,600千円

(2) 引当金の目的使用による取り崩し

	令和8年度予定 (自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日)
貸倒引当金	—
賞与引当金	1,360千円
法定福利費引当金	276千円

3 セグメント情報に関する注記

(1) 報告セグメントの概要

下水道事業会計は、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、個別排水処理事業及び特定地域生活排水処理事業を運営しており、各事業で運営方針を決定していることから、これらの4つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
農業集落排水事業 (小規模下水道管理事業)	農業集落排水事業における処理区域で汚水を処理する事業
漁業集落排水事業 (小規模下水道管理事業)	漁業集落排水事業における処理区域で汚水を処理する事業
個別排水処理事業 (小規模下水道管理事業)	個別排水処理事業における処理区域で汚水を処理する事業
特定地域生活排水処理事業 (町営浄化槽整備推進事業)	特定地域生活排水処理事業における処理区域で汚水を処理する事業

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

当年度(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:千円)

	農業集落排水事業	漁業集落排水事業	個別排水処理事業	特定地域生活排水処理事業	合計
営業収益	15,324	5,645	110	54,724	75,803
営業費用	68,459	97,629	431	124,605	291,124
営業損益	△ 53,135	△ 91,984	△ 321	△ 69,881	△ 215,321
経常損益	557	618	27	518	1,720
その他の項目					
他会計補助金	46,500	51,000	300	45,700	143,500
減価償却費	37,540	47,400	255	38,019	123,214
特別利益	1				1
特別損失	10			1	11

資本的収入及び支出の見積基礎

収 入

1 款 資本的収入

1 項 企業債

(単位：千円)

目	既 決 予定額	補 正 予定額	計	節		備 考	
				区 分	金額		
1 建設改良債	17,000	10,200	27,200	1 建設改良債	10,200	下水道事業債	5,100
						過疎対策事業債	5,100

支 出

1 款 資本の支出

1 項 建設改良費

(単位：千円)

目	既 決 予定額	補 正 予定額	計	節		備 考	
				区 分	金額		
1 建設改良費	76,166	10,310	86,476	23 工事請負費	10,310	愛南地区漁村整備工事	10,310

